



会報



会報はご家族みんなで読みましょう

THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ
OF TSURUOKA

斎藤得四郎氏絵

第696回例会 1973.3.27 (火) くもり No. 37

例会日 火曜日 12時30分

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内

会長 阿部 囊 幹事 市川輝雄

Let's Take A New Look!

「もう一度 見直そう」

■出席報告

本日の出席

会 員 数	68名
出 席 数	55名
出 席 率	80.88%

前回の出席

前 回 出 席 率	76.47%
修 正 出 席 数	60名
確 定 出 席 率	88.24%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、平田君、池内君、

五十嵐(一)君、五十嵐(八)君、廖君、斎藤(栄)君、斎藤(信)君、笹原君、篠原君、津田君、富樫君

■マークアップ

阿部(襄)君—酒田東RC
佐藤(忠)君—酒田RC
長谷川君—温海RC
阿宗君—新庄RC
阿部(公)君、安藤君、三井(賢)君、佐藤(昇)君—鶴岡西RC

■ビジター

羽根田正吉君、菅原年雄君—鶴岡西RC

■ 司 会 阿 部 会 長

■ ローターソング「手に手つないで」

■ 会長報告

ヒックマン会長は「奉仕の前進を要請」しております。それは年度の前半期を終えたヒックマン会長が、奉仕の四大部門におけるロータリーの実績を検討し、全会員がその前進を継続させるように奨励しておられます。就中、会長は全会員がそれぞれ一人の若い職業人をロータリーに入会させ、地区大会へ同行することを提案されております。今後考慮してゆきたいと思ひます。

○飯島ガバナーが353地区各RCの公式訪問を終えられての所感を述べておられます。

第10信のガバナーマンスリーレターを一読して下さい。

○橋浦君が栄転のため退会されます。当クラブのためにご努力いただきましたこと、感謝申し上げますと共に苦小牧においでになりましたもロータリー精神の昂揚にご尽力いただきたいと思ひます。

○思恩園の園舎が改装になり会長として臨席いたしてまいりました。非常に立派な園舎で子供たちもよこんでおりました。この立派な建物を設計されたのが当クラブの新穂君です。感謝状を受賞されましたのを記念してスマイルされておりますので発表させていただきます。

■ 幹事報告

○会報到着

塩釜東・白鷹・八戸東・上ノ山各RC

○例会場変更

山形RC 例会場移転 3月28日より

毎週水曜日 丸久松坂屋新店舗8F

○第4回県年少ボーイスカウト交換大会が3月25、26日開催され当クラブより5千円の補助を行いました。

▷357地区大会 シンポジウムに参加して

安藤定助君

牛田利一ガバナーはシエラル・シンポジウムについてのプログラムの中で

「このたび国際ロータリー理事会は特に我々の地区大会のために5ヶ条の討議項目を通告してまいりました。すなわち

1. 貴国或いは貴地区において向う10年間にロータリークラブのプログラム又は活動に影響を及ぼすと思われる最近の傾向は何か。又これらの発展により要求される新しい奉仕分野は何か。

2. ロータリークラブ会員を誘致するものは何か。

3. ロータリークラブが自己の地域社会を暮し良くするために独立して出来ることは何か

4. ロータリークラブのインターアクト及びロータリーアクトクラブに対する関係如何。

5. ロータリーの職業奉仕を進展する方法。

この5つであります。即ちヒックマン会長は激動する1970年代に於いて免角、観念的且つ形式的であり、又空虚でキレイ事の羅列にすぎなかったロータリー運動を反省し実際に地域社会に密着したロータリー運動でなければならぬと強い願望を示唆してきたわけでありませう。

本日は青山総括リーダー司会のもと本地区の前バストガバナー、台湾の王ガバナー、韓国の李ガバナー及び地区内のベテランロータリアン、学生代表、地域代表まで参加して2時間におたる討議を行います。そして全参加ロータリアン及びその家族よりの発言もおおいに観迎いたしますので結局は大会参加者全員による一大討議会となる予定です。本企画の成功か否かは、以上の目的からみて、真に時代に適合したロータリー確立のためにはどうしたら良いかと云う真剣な発言が得られるかどうかにかかっております。我々はこよなくロータリーを愛します。この激変する時代をこえて、たくましく成長してゆくロータリーのために、本大会全参加者によりこのシンポジウム助成せしむるよう皆様のご協力を切望いたします。」とあり、5つの中から最初の問題をかいつまんで「これからの10年間のロータリーについて」のテーマで始まりませう。

このシンポジウムについての私見ですが壇上から方々のご意見は実に立派なご意見でたくさん出されましたがそれだけ反面大会参加者からの声の割に少なかったようですし、又出す暇がなかったようです。このためにこのシンポジウムは選ばれた特定の人々の討論会と云った形となり、せつかくの地区大会の全参加の中のシンポジウムにしてはちょっとものたりなさを感じました。これをどのようにするか、来るべき私達の地区大会までに皆んなで討論してみる必要を感じました。特にリーダーの指揮如何によって実るか実らないかがきまるように感じます

▷おわかれのごあいさつ◁ 橋浦勝久君

このたび北海道の苦小牧に転勤することになりました。45年に鶴岡にまいりまして丁度3年間お世話になったわけです。生来の不勉強のため皆様にご迷惑をおかけいたしましたことについて、さるに当り非常に心苦しく思っております。しかしながら皆様方からおよせいただきました心温たたまる数々のご支援、ご指導をうけまして非常に感謝いたえない次第であります。新任地にゆきましても皆様方のご指導を受けました一つ一つをよくそしゃくしながらこんごとも努力してまいりたいと思っております。みなさまがたのご健康とクラブの今後の益々ご発展ならびに今年度予定されております地区大会が成功裡で開催されますようお祈り申し上げます。